

三菱ふそう 品質問題への取組み状況報告

弊社の最新の車両事故・火災情報（スクランブル対応）および、緊急性の高い11案件の市場措置（リコール対応）の実施状況をご報告申し上げます。

尚、今般、誠に遺憾ながらVロッド装着車大型トラックにおいて、作業ミスに起因する2件の不具合発生情報を得ましたので、今後の防止策を含めて取り急ぎご報告申し上げます。

記

1. 今週の定例報告事項

(1) 車両事故・火災情報（スクランブル対応）

- ・ [資料1]をご参照下さい。
- ・ 7月12日に発生しました埼玉県川越市の一般道での小型トラックが軽自動車に追突した事故に関して、7月26日に調査を行いました。その結果、制動力は車検の検査基準に合格していました。念のためブレーキ関連部品を回収し、リコールとの関連性について調査中です。
- ・ 7月19日に発生しました兵庫県姫路市の車庫での小型トラックの出火に関して、7月27日に調査を行いました。その結果、第一発見者の情報による右後輪付近の荷台からの出火との話があり、その部分の荷台の床板が穴明き焼失しており、火元と推定されますが、焼損状況が激しく特定にはいたりませんでした。なお、この付近の配線、排気管、ブレーキ、ハブベアリング等に火種となった痕跡は確認できず、火災現場での調査からは原因特定にはいたりませんでした。
尚、リコールとの関連性を調査しましたが、関連性はありませんでした。
- ・ 7月20日に発生しました奈良県天理市の国道25号線上り坂での中型トラックの火災に関して、7月26日に調査を行いました。その結果、事故前の状況からエンジンのオーバーヒートによりエンジンルーム内が異常に高温になり、火災発生にいたったものと推定されますが、エンジンルーム内の焼損が激しく、火元および延焼経路の特定は困難な状況でした。
尚、リコールとの関連性を調査しましたが、関連性はありませんでした。
- ・ 7月20日に発生しました福岡県久留米市の駐車場での大型トラックの出火に関して、7月25日に所轄消防本部の見分に立ち会いました。車両を確認したところ、運転手が炎を発見した場所（シフトノブ後方のセンターコンソール）付近の配線にはショート痕はなく、火元となるような車両側の要因は見当たりませんでした。
尚、リコールとの関連性を調査しましたが、関連性はありませんでした。
- ・ 8月1日に宮城県村田町菅生の東北道下り線で小型バスの火災がありました。尚、けが人はありません。詳細は現在調査中です。

(2) 緊急性の高い11案件の市場措置実施状況

- ・ [資料2]をご参照下さい。
- ・ クラッチハウジング恒久措置につきましては、前回比(8月1日時点)約150台増の約89%となっています。

2. Vロッド装着車 作業ミスによる不具合発生について

Vロッド再リコール（届出番号 1415）を実施した車両で、2件の不具合が発生いたしました。

- (1)・対象車両 : 大型トラック スーパーグレート
- ・不具合発生日 : 7月28日(木)
 - ・発生場所 : 大阪市住之江区南港トラックターミナル内
 - ・再リコール実施日 : 7月27日(水)
 - ・発生状況 : ターミナル内での荷物の積み込み作業時、後前軸がの右側へずれているのを発見し、確認したところVロッドを取り付ける左側のフレームへの取付ボルトが1本脱落し、1本が折損していた。
- ・本件については、人身・物損・火災はありませんでした。

再リコールの作業内容を確認したところ、作業依頼書どおりの作業が行われておらず、部品の状況により交換する必要があったブラケットを再利用していたこと、ボルトを締め付ける際に使用を禁止しているインパクトレンチを使用したことが判明しました。

- (2)・対象車両 : 大型トラック スーパーグレート
- ・不具合発生日 : 8月1日(月)
 - ・発生場所 : 北海道岩見沢市内の工場構内
 - ・再リコール実施日 : 7月21日(木)
 - ・発生状況 : 荷卸しの為、構内をUターン中、ドライバーが後方からの「ガクッ」と言う異音に気づき車両をストップして点検したところ、左側後前軸のVロッドが外れているのを発見した。(フレーム側取付けボルトが折損していた)
- ・本件については、人身・物損・火災はありませんでした。

原因については、作業後、早期の不具合のため作業にかかわる原因と推定されますが、詳細調査中です。

本件に対し、作業要領書どおりの作業を徹底するため、以下の防止策を今週中に実施します。

- ・作業者を専任化（登録制）し、もっとも重要なフレームへのVロッド取付およびVロッドのアクスルとの合わせを2人作業として、作業の段階別チェックを徹底します。
- ・全拠点（262拠点）別の工場長クラスを集め、作業要領書どおりの作業ならびにチェックリストの重要性を当社から直接説明し、メカニック一人一人の理解を深めます。

以上

車両事故・火災情報(スクランブル対応)

: 網掛け部が前回公表時に対して追加・変更した箇所を示す。

2005.08.03

| 発生日時 | 場所 | 車両 | スクランブル | 事故内容及び調査概要 | 人身 | 47項目のリコール等 不具合内容との関連性 | 過去の該当リコール案件 |
|----------|---------------------------------------|-----------------------------|--------|--|-------------------|--------------------------|--|
| 6/14日11時 | 香川県坂出市 瀬戸中央自動車道 | F K515J 87年12月登録 | 済 | 瀬戸中央自動車道走行中、左側壁に衝突し弾みで中央分離帯へ衝突、更に左側壁に衝突しながら200m走行して停止。 ・ステアリング系は引っかかり、渋りなく作動はスムーズであり、正常と判断。 ・ブレーキ系も作動テストにて異常なく、したがって、車両として正常であり、問題ないと推定。 | ドライバー-死亡 同乗者骨折 | 当社調査結果から関連性は認められません。 | 該当無し |
| 6/15日20時 | 中央道 長野県座光寺PA | FU517TX 00年4月登録 | 済 | 中央自動車道下り走行中、松川IC先下り坂でブレーキを使用したところ、ブレーキ警報ランプ点灯とブザーが吹鳴。後々軸左側の内側の部分から出火。 ・後々軸左側のみヘアリング廻りに錆有り、水浸入の痕跡有り。 ・他の車輪は全てきれいであり、水浸入の痕跡なし。 ・後々軸ハブヘアリング 焼き付のリコールに該当する可能性有り。 | なし | 47案件 (No.10) に該当 | 電気系統のリコール対象 (00年8月対策済み) 緊急点検:実施前 |
| 6/18日2時 | 愛媛県伊予市 | FU416U 90年5月登録 | 済 | 左前輪付近から出火、キャブ全焼。 ・前軸及び後々軸のブレーキ引きずりが発生。 ・エアマスター作動テストの結果、作動は正常。 ・ブレーキ液に鉱物油が混入しておりエアマスター内のバルブシートが膨潤しブレーキ液の戻りが悪くなり、残圧が発生し、引きずり状態になったと推定。鉱物油の混入の時期、状況等については特定できず。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | フロントハブリコール対象 (2002年7月Fハブ交換済) リアハブ04年5月24日車検時、 亀裂点検済み(亀裂なし) リアハブは未交換。 |
| 6/18日4時 | 広島県安佐南区 山陽自動車道 | (追突車) FU410TZ 95年7月登録 | 済 | 前車に衝突し、運転手社外投げ出され死亡。事故後衝突車は約2キロ 無人のまま走行し、横転して停車。 ・現車は追突の衝撃によりアクセルペダルが引っ掛かった状態のままとなったため、衝突後もそのまま走行したものと推定。 ・エンジンECUと電気回路は損傷なし。車両として正常であり、問題ないと推定。 | ドライバー-死亡 | 当社調査結果から関連性は認められません。 | 被追突車はフロントハブリコール対象 後々軸ハブヘアリング緊急点検対象 (2004年5月点検実施済) |
| 6/21日4時 | 愛知県豊橋市 | FP411D 94年9月登録 | 済 | 中央分離帯を乗り越え、対向車線を横切り、ガードレールを突き破り道路外の用水路に転落。 ・クラッチハウジングについても亀裂なく、フロアランプも破損なし。 ・ハブ破損なく、問題なし。車両として正常であると推定。 | ドライバー-死亡 | 当社調査結果から関連性は認められません。 | フロントハブリコール対象 (2003年2月Fハブ交換済) クラッチハウジングリコール対象 |
| 6/21日22時 | 佐賀県神埼町 長崎自動車道 東そのぎインター 手前バス停 | FU410U 96年3月登録 | 済 | 後前軸左内側、右内側から発火し、消防により消火。 ・フロントハブ異常なし。後前軸ハブヘアリング正常。ブレーキのひきずりなく、ブレーキは正常。 ・後前軸左側の内側タイヤのスチールワイヤが露出し、タイヤハーストしたと思われる痕跡有り。 ・タイヤハーストによりワイヤ用オイル配管を破損させ、漏れたオイルに引火したものと推定。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | フロントハブリコール対象 (2003年5月Fハブ交換済) |
| 6/23日22時 | 福岡県久留米市 宮の陣 九州自動車道 | FU410TZ改 95年9月登録 | 済 | 走行中右後輪から出火、30分後に消火。 ・後々軸右側のアウターヘアリング 焼き付き破損。目視では目立った錆は無し。 ・ブレーキラインが下側焼け大(後軸芯ずれのため)。他のリア3輪とも、ロックナットに緩み有り。 ・不具合発生部位以外の3輪のグリスは、使用に適さない性状である。(除く後々軸左アウターヘアリング部) ・不具合部位のグリスは、熱や消火作業時の放水の影響を受けていると思われる判定困難。 ・ヘアリングは後々軸左側を除いて継続使用には適さない状態。不具合部位後々軸右側のアウターヘアリングは破損のため調査不可能。 ・焼き付き破損位置以外のヘアリング、グリス、ロックナットの状態から不具合部位も同様にダメージを受けていて破損した可能性が高い。その他警察捜査中。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | 該当無し |
| 6/23日10時 | 千葉県野田市 県道7号線 | FE50EB 00年12月登録 | 済 | 前方車両が急停止したため、ブレーキを踏んだが止まらず、踏み直したが停車できず、追突。 ・制動力異常無し、ABS装置も診断結果エラー無く問題無し。 ・車両として正常であり問題無いと推定。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | ABSプログラム改善対策対象 (2002年3月 措置済) |
| 6/24日10時 | 和歌山県 阪和道 御坊～南部 | FE435E 93年9月登録 | 済 | 走行中エンジン吹きが悪くなり、3km走行後非常駐車帯に停車して状況確認したところセルモーター付近の配線から発煙。若干焦げた程度。 ・エンジン左側ブロックより第4気筒目のコックアウト 突き出し。 ・エンジンオイルの残量が異常に少なく、更に、エンジン周りに多量のオイル漏れが発生していることから、オイル不足からヘアリング 焼き付き、コックアウト 破損に至ったと思われる。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | 該当無し |
| 7/5日18時 | 群馬県藤岡市 関越自動車道 (藤岡JCT付近) | BE459F 95年8月登録 | 済 | 車体から白煙が見えたので停車。エンジンルームから炎が出ていたので、消火器で消火を試みるも全焼。 ・スターターは連続通電による内部過熱の形跡なし。キースイッチリコールとの関連性は少ない。 ・エンジンルーム内は全焼しているが、左側の焼損が激しい。ただし左側には樹脂類の可燃物が多く延焼したものが、火元かの判別は困難である。燃料パイプ、噴射ポンプ 噴射管に亀裂なく燃料漏れの可能性はない。 ・オルタネーターは県警科捜研が調査。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | スターター-キースイッチリコール対象 (2003年6月 措置済) |
| 7/7日14時 | 埼玉県加須市 東北自動車道下り 加須IC先約3km | FE437EV 90年8月登録 | 済 | 走行中、突然ホーンが鳴りつ放し。ブレーキも効かず、キャブ下から煙。 ・車両を路側に停めるとキャブ 炎上、消防車出動し消火するが、キャブ、エンジン、ボディ全焼。 ・エンジン左側ブロックより第4気筒目のコックアウト 突き出し。エンジンオイル残量なし。 ・潤滑不良によるエンジン焼き付きと思われる。オイル管理状況についてはユーザーから警察および販社に整備記録を連絡。 (直近のオイル交換記録は 04年5月20日) | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | 該当無し |

| 発生日時 | 場所 | 車両 | スクランブル | 事故内容及び調査概要 | 人身 | 47項目のリコール等 不具合内容との関連性 | 過去の該当リコール案件 |
|----------|------------------------------|--------------------|--------|--|---|--------------------------|---|
| 7/14日20時 | 山口県 中国自動車道上り 美弥インター付近 | FV415JR 93年5月登録 | 済 | フロアシャフトが脱落。後続車が脱落したフロアシャフトにタイヤを擦ったが、事故にならず。 ・クラッチハウジング、トランスミッションケースに亀裂はなし。 ・フランチヨークのボルト6部から破断している。フロアシャフト材質に異常はないが破断面の様相からは破損モードは特定不可。ユニバーサルジョイントのスパイダーに交換歴あり、フランチ破損部の状況からスパイダー交換時のヘアリングカップボルトの締め付け不足による弛み、破損の可能性が考えられる。整備状況を調査中。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | フロントハブリコール対象 クラッチハウジングリコール対象 |
| 7/18日16時 | 長崎県嬉野町 長崎自動車道下り 嬉野IC付近 | BE632G 98年11月登録 | 済 | 走行中、エンジン付近から発煙、路肩に停車した。このあと出火し、エンジンルーム内が焼損している。 ・エンジンルーム内の上部が焼損、エンジンオイル洩れが激しい。 ・形跡から見て古くからの洩れ。ロッカーシャフトが折損。 ・科捜研が7/27車体から降ろしたエンジンを再見分した。 ・ロッカーシャフトの締め付けボルト1本が折損。これによりロッカーシャフトが折損。カムフレーム取り付けボルトのトルク低下、ロッカーカバーとボルト干渉の順でカムフレーム周りに隙間ができオイル漏れが発生し、排気マニホールドに付着、発火したものと推定。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | スターターキースイッチリコール対象 (2002年4月 措置済) |
| 7/21日9時 | 北海道登別市 豊浦町 国道36号線 | FP415DR 90年4月登録 | 済 | 走行中、異臭とキャブバック付近から煙が上がった。トレーに積載の古紙に延焼し、全焼。 ・クラッチハウジング、トランスミッションケースに亀裂はなし。 ・焼損はキャブ後部のみでエンジンは燃えていない。エンジン後部ターボチャージャー出口吸気パイプが溶損。 ・当該部付近に配策されているゴム製燃料ホース(定期交換部品)が焼損紛失していることから、何らかの原因で、ホースから洩れた燃料がターボチャージャーの熱で着火、延焼したものと推定。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | フロントハブリコール対象 (2004年6月 措置済) クラッチハウジングリコール対象 (2004年6月 措置済) |
| 7/25日9時 | 島根県安来市 山陰自動車道 安来IC付近 | MS821P 94年6月登録 | 済 | 走行中、左後輪タイヤ付近から発火。内側タイヤの車両内側面が焼損している。 ・ブレーキが引きずった形跡あり。タイヤが焼損、ハーストしている。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | フロントハブリコール対象 (2004年7月 措置済) |
| 7/28日4時 | 福岡県北九州市 都市高速4号線 紫川IC付近 | FV514H 98年2月登録 | 済 | トランスミッションとデフ間のフロアシャフトがデフ側で破損し脱落。 ・インテークのコハニオフランチ締付けネジの根元破断し、フロアシャフト脱落したと推定。 ・ネジの根元部の破損は各部全周を起点とした疲労破壊。 ・デフ側破損部のコハニオフランチのスプラインに生じたカタによりシャフトねじ切り上部に擦り過負荷がかかり折損に至ったと推定。 | 2名通院(8/下) 1人は首、肩の痛み。1人は腰痛、打撲で2名とも外傷無し。 | 47案件 (No.24) に該当 | キャブ電源ハーネスリコール対象 (2000年8月 措置済) 緊急点検:未実施 |
| 7/29日5時 | 福島県会津坂下町 磐越自動車道 上り | FV411T 94年3月登録 | 済 | トランスミッションとデフ間のフロアシャフト3本が脱落。 ・フライホイールハウジングが亀裂。クラッチハウジングを結合する取り付けボルト6本が脱落。6本緩みあり。 ・クラッチハウジングとの接合面に揉まれ跡があり、ボルトの弛みによる破損と推定。 ・ボルト締め付け力の不足の原因としては、クラッチディスク交換時等のボルト締め付け不十分の可能性が高い。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | フロントハブリコール対象 (2004年6月 措置済) クラッチハウジングリコール対象 |
| 7/29日18時 | 大阪府東大阪市 市道 | MS821P 94年5月登録 | 済 | 走行中、右後輪付近から発煙、発火。乗客が消火器で消火。内側タイヤが焼損。 ・現車を調査した結果、タイヤがハースト、焼損しており、後輪ブレーキが引きずった形跡がある。 ・但し、再現試験でもブレーキ引きずりは再現せず、戻りも良好。チャンパも異常なし。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | フロントハブリコール対象 (2004年6月 措置済) |
| 7/31日朝 | 秋田県横手市 | FV511TZ 98年3月登録 | 済 | タンデム間フロアシャフトが脱落。車両横転し、ドライバが怪我をして病院に搬送。 ・積荷は産業廃棄物で36%過積載、高荷状態であり、旋回時ロールし易く、車速超過による操作ミスで横転と推定。 ・横転による2次不具合として、フロアシャフトが損傷したものと推定。第一報ではフロアシャフト脱落との情報であったが脱落していないことを調査時確認した。 ・警察は人身事故扱いとせず、ドライバは病院で検査をおこなったが、通院はなし。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | キャブ電源ハーネスリコール対象 (2000年9月 措置済) |
| 7/31日14時 | 大分県中津市 | FS419TZ 94年3月登録 | 済 | 走行中にエンジンが急に噴き上がり、路肩に停車させ、キャブチルトし、噴射ホンのアクセルリワイを引くもエンジン停止せず。その間マフラー過熱し、マフラー廻りから出火しタイヤ、バッテリー、タンクなどを焼損。 ・噴射ホンの分解調査実施。コントロールラックがバルブ側1気筒目の溝部底を起点として疲労破壊している。 ・コントロールラックの折損により噴射ホンが制御不能となりエンジンが吹き上がったものと推定。 | なし | 47案件 (No.32) に該当 | フロントハブリコール対象 (2004年6月 暫定点検済み) タンデムフロアシャフトリコール対象 リアフロアシャフトリコール対象 (フロアシャフトはいずれも未実施) 緊急点検:未実施 |
| 8/1日19時 | 富山県入善町 国道8号線 | FU510UZ 99年9月登録 | 済 | 走行中、異音が出たため路肩に停車したところ左前輪から出火していた。その後運転席部分などを焼いて鎮火。 ・左前輪アウターアリングが破損し、ブレーキひきずり発火したものと推定。 ・右前輪アウターアリングは継続使用には不適な状態であり、左側も同様のダメージを受けていて破損した可能性が高い。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | キャブ電源ハーネスリコール対象 (2000年8月 措置済) |
| 8/8日20時 | 島根県松江市 国道9号線 | MS821P 94年6月登録 | 済 | 7月25日タイヤ焼損した車両に対し、ブレーキ関連部品を新品に交換した。しかし再度左後輪がひきずり発煙した。 ・現車の左後輪にライニング焼けを確認した。定置では今回もブレーキひきずりを再現できず。チャンパも異常なし。 ・新品部品に交換したが再発したため、車両引取り。7/29発生の大阪の車両とともに実車再現試験を実施。 ・1台(大阪)の車両で走行時ブレーキの引きずりを再現。ブレーキのアライメントに残圧が発生。もう1台(松江)の車両は、実走行では再現せず。ただし、2台とも定置でブレーキ配管系を加温すると残圧が発生することを確認。 ・原因はブレーキ系アライメントのバルブ排気不良と推定。バルブ構成部品の詳細調査を継続。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | フロントハブリコール対象 (2004年7月 措置済) |
| 8/11日14時 | 長崎県佐世保市 西九州道 大塔IC出口市道 | FP445D 94年9月登録 | 済 | 車両全焼。トレー一部焼損。詳細は不明。 ・キャブ後部の焼損が激しく火元の特定は困難。 ・県警捜査継続中。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | フロントハブリコール対象 (2004年4月 措置済) クラッチハウジングリコール対象 |

| 発生日時 | 場所 | 車両 | スクランプル | 事故内容及び調査概要 | 人身 | 47項目のリコール等 不具合内容との関連性 | 過去の該当リコール案件 |
|-----------|----------------------------|---------------------|--------|---|--|---|---|
| 8/26日3時 | 広島県東広島市 山陽道下り 西条IC手前 | FU54JUJ 03年9月登録 | 済 | 後前軸(駆動軸)左内側タイヤの内側付近から出火。車載の消火器で消火。 駆動軸Vロッド上部のボールジョイント抜けが発生している。駆動軸が右へずれている。 後前軸(駆動軸)左側のショックアブソーバーの表面に亀裂あり、作動油が洩れてほとんど残っていない。 駆動軸のVロッドのボールジョイントが抜け出して、車軸の左右方向の拘束がなくなっている。 ショックアブソーバーの亀裂はブレーキドラム及びタイヤホイールと干渉したためと推定。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 9月22日届出 通常リコール1234に該 | 該当なし |
| 9/9日16時 | 徳島県板野町 高松道上り | FV415J 84年10月登録 | 済 | フロアシャフトが外れて走行不能になった。2次的被害なし。クラッチハウジングに亀裂なし。トランスミッション・メインシャフトが折損、 エクステンションハウジングが破断し脱落。ドレフラグが脱落。 トランスミッション・エクステンションハウジング側のドレフラグが脱落し、内部にオイルは残っていない。 オイル不足によりヘアリング等に焼き付きが発生しギヤがロック状態となり、メインシャフト破断 エクステンションハウジング破断 フロアシャフト振られ、フロアシャフトのトランスミッション側ジョイント部破損 部品脱落に至ったものと推定。 事故現場付近の路面にはオイルの痕は見られなかったとのことなので、事故直前に抜けたのではなくもっと前からなかったと思われる。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | フロントハブリコール対象 クラッチハウジングリコール対象 |
| 9/10日18時 | 群馬県松井田町 上信越道下り | FS510VZ 98年6月登録 | 済 | 走行中エンジン付近から異音発生。路肩に寄せたところエンストして停車。その後出火し全焼。 エンジン左側ブロックより第4気筒目のコックピットが飛び出し穴があいている。エンジンオイルの残量なし。破損し高温になったエンジン内部の金属片によりオイルが発火しエンジンブロックにあいた穴から噴出、延焼したものと推定。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | シャシハーネスリコール対象 (2000年9月 措置済) タンデムフロアシャフトリコール対象 (2003年7月 措置済) リアフロアシャフトリコール対象 (2003年9月 措置済) キャブ電源ハーネスリコール対象 |
| 9/11日14時 | 神奈川県川崎市 国道409号線 | FN622K 98年12月登録 | 済 | 4台(当該車両を含む)の玉突き事故。運転手がブレーキが効かなかったと証言。 ブレーキ系配管からのエア漏れ、ブレーキ液漏れなし。ブレーキ低圧警報センサー機能は正常。 制動力をテスターで計測したが検査基準には合格。 その他警察捜査中。 | あり 4台中2台(2名) 1名鞭打ちで 通院中 他1名は通院1回 | 当社調査結果から関連性は認められません。 | キャブフック曲がり不具合リコール対象 キャブチルト警告灯不具合改善対策対象 |
| 9/14日3時 | 島根県益田市 国道191号線 | FU510UZ 97年7月登録 | 済 | 走行中異音が生じ、しばらくすると灯火系が消えたため停車した。下車して確認したところ左側ヘッドライトとフロント ハルバーの間の奥に炎が見えた。キャブ全焼。 最初に炎が確認された部位の近くで回収した配線にショート痕あり。配線を調査した結果、 後付け配線である可能性が高いが、出火がショートによるものかの判定は困難。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | シャシハーネスリコール対象 (2000年9月 措置済) キャブ電源ハーネスリコール対象 |
| 9/22日12時 | 静岡県岡部町 国道1号線 | FV419J 90年10月登録 | 済 | 走行中異音が生じ、バックミラーで落下物を確認。そのままブレーキが効かなくなり惰性で走行し上り傾斜の場所で停止。 惰性で後退時に左後輪を縁石に当てて停車。 駐車ブレーキドラム、フロアシャフトが別々に脱落。クラッチハウジングが全周亀裂。右フレーム内側エアバンプ三本破損。 フロアシャフト前側ユニバーサルジョイントのフランジヨークのリテーナボルトが疲労破壊していることからボルトが折損、その結果スライダ部に偏芯が発生しフロアシャフトの振れが増大しクラッチハウジングが疲労破壊したと推定。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | フロントハブリコール対象 (2004年5月 措置済) クラッチハウジングリコール対象 (2004年7月 措置済) |
| 9/23日6時 | 兵庫県西宮市 市道 | FP415D 94年1月登録 | 済 | 走行中エンジン付近から煙が出たので車両を止めて避難した。その後車両は全焼。 駐車場でエンジンを始動させた時に異音に気付いたがそのまま出発し約100m走行した所で発煙。 車両右前方のキャブ下側のハーネス付近の焼損が激しく出火場所と考えられるが、ハーネスにショート痕なし。 警察が捜査継続中。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | フロントハブリコール対象 クラッチハウジングリコール対象 (2004年8月 措置済) |
| 9/27日18時 | 和歌山県和歌山市 駐車場内 | FE507B 95年11月登録 | 済 | 駐車場に車両を停車後、異音が生じたので確認するとエンジン下部から火が出ていた。 スタータ内部が破損。連続通電による過熱でスタータ回りの一部が燃えたと推定。 キースイッチの作動は問題なし。配線状況も干渉なく問題なし。 スタータ内部を調査した結果、オイルの浸入によりブラシが異常摩耗した形跡あり。そのためブラシの機能が不良となり、 発生したスパークの熱でブラシ周辺の部品が溶損し、引火に至った可能性あり。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | スターターキースイッチリコール対象 (2002年11月 措置済) キャブハーネス、ワイパーリンク干渉リコール対象 |
| 10/1日4時 | 愛知県岡崎市 国道1号線 | FU510UZ 99年10月登録 | 済 | 走行中異音が生じた後、サイドコンソールボックス付近から煙がでた。キャブ全焼。 センターコンソールボックスのスイッチの一部が改造された形跡がある。その配線はねじり接続されており、一部に弛みあり。 この部分で発熱、発火したと推定する。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | シャシハーネスリコール対象 (2000年8月 措置済) キャブ電源ハーネスリコール対象 リアリフスプリングのハンガーブラケット からの脱落リコール対象 |
| 10/6日6時 | 大阪府北区 国道2号線 | MP717K 98年10月登録 | 済 | 走行中車両前方に乗用車が進入してきたため急ブレーキをかけたところ、そのはずみで車両右側後方の非常口横の シートが前に倒れた。倒れたシートに着席していた乗客とその後ろの席の乗客が負傷した。 大阪府警が車両保管中であり破損部位の詳細状況は確認できず。 警察捜査中。 | あり 1名打撲 通院加 療5日 他1名はそのまま 帰宅 | 47案件 (No.47) に該当 リコール1229(9月22日届出) | 燃料タンクリコール対象 (2000年9月 措置済) 非常口扉シートリコール対象 緊急点検:8月25日実施 |
| 10/14日14時 | 広島県西区 草津漁港浮桟橋 | FK417J 89年1月登録 | 済 | 岸壁と浮き桟橋とを結び渡し橋の上にとめてあった車両が後退し、車両後方で橋の修理作業中の2名を巻き込んで 浮き桟橋の上で止まった。 駐車ブレーキ機能に問題なし。その他警察捜査中。 | あり 1名死亡 1名全身打撲 | 当社調査結果から関連性は認められません。 | キャブチルト警告灯不具合改善対策対象 |

| 発生日時 | 場所 | 車両 | スクランプル | 事故内容及び調査概要 | 人身 | 47項目のリコール等不具合内容との関連性 | 過去の該当リコール案件 |
|-----------|------------------------------|---------------------|--------|---|-------------------------------------|--------------------------------|--|
| 10/5日19時 | 岐阜県中津川市中央道下り | FP512D 99年5月登録 | 済 | 約5%の下り勾配のS字カーブの後半の左カーブで、中央分離帯をまたいだ状態でキャブ左側を下にして横転、炎上。 ・タンク-全焼、ブレーキは前方が焼損。 ・運転手に事故前後の記憶がなく横転時の状況不明、警察捜査中。 | あり ドライバー-重傷 後続車2台が追突、各運転手が重軽傷 | 当社調査結果から関連性は認められません。 | シャシハーネスリコール対象 (2000年7月 措置済) キャブ電源ハーネスリコール対象 |
| 10/19日12時 | 静岡県浜松市東名高速上り三ヶ日IC～浜松西IC | FY50JTY 01年3月登録 | 済 | 走行中フロントとリアデフ間のプロペラシャフトが脱落し、後続の軽自動車落下した部品を乗り越え左前後タイヤがパンクした。 ・タンデム間プロペラシャフトが脱落、ただし、フロントデフ側にはフランシヨクが残存(レッカー業者が牽引作業時取り外した)し、リアデフ側はロックナット、割りピンが外れた状態でプロペラシャフト本体のみが脱落している。ロックナット、割りピンは回収されていない。リグクワンビのねじ部には損傷なくロックナットは緩んで脱落したものと推定。 | なし | 47案件(No.2)に該当リコール1257(10月7日届出) | 6M70タービシャフトリコール対象 (2001年3月 措置済) 6M70VGターボリコール対象 タンデムプロペラシャフトリコール対象 (2003年3月 措置済) リアプロペラシャフトリコール対象 (2004年3月 措置済) キャブ電源ハーネスリコール対象 フロントハブヘアリングリコール対象 エンジンハーネスリコール対象 エンジンリヤマウントリコール対象 タンデムプロペラシャフト再リコール対象 緊急点検:未実施 |
| 10/15日5時 | 奈良県奈良市中畑町国道25号線 | FE648F 94年6月登録 | 済 | 走行中バチバチ音と異臭があり車両左側からの発煙を確認。車両を止めたところキャブ左側後方から出火、キャブ全焼。 ・キャブバックと荷箱の間の焼損が激しく、エンジンルーム内はアルミ製部品に溶損はなくそれほど強く燃えていない。 ・燃料漏れ、オイル漏れの痕跡なし。配線にはショート痕なし。スターター異常なし。 ・キャブバックの焼損が激しく火元の特定は困難であった。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | ステアリングキャブボックスリコール対象 駐車ブレーキケーブルリコール対象 タイロッドエンドボ-ルジョイントリコール対象 |
| 10/30日16時 | 埼玉県坂戸市花影町閑越自動車道上り東松山IC～鶴ヶ島IC | FK61HK 99年11月登録 | 済 | 走行中、助手席ドア付近からバチバチ音がして灰皿付近から炎が出た。 キャブ内全焼、リアホティ前方が一部焼損。 ・ドライバーが最初に炎を確認した場所付近にはハリウインドウスイッチへの配線とドア灰皿があるが、配線にはショート痕は見られず。灰皿はバラバラになっており亀裂の有無は確認不可能。吸殻2本を回収した。また、ドライバーによれば出発前にタバコは吸っていないとのこと。火元の特定できず。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | スターターリ-リコール対象 |
| 11/2日12時 | 川崎市川崎区首都高速横羽線下り浜川崎出口付近 | FN61FK 00年1月登録 | 済 | 走行中右前輪がパンクしたために路肩に停車したところ右側前輪付近から出火していた。 キャブ全焼。キャブ後方のブレーキが焼損、リアホティ前方も一部焼損。 ・前軸左右輪のブレーキに引きずった痕跡あり。ハブヘアリングに破損はなく、軸ずれによる引きずりではない。 ・ブレーキが掛かった状態で走行した可能性があるため、ブレーキ系の関連部品を調査したが焼損が激しく作動の確認は出来なかった。残存部品の組み付け状況は問題なし。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | VGターボC/W改善対策対象 (2000年8月 措置済) スターターリ-リコール対象 (2000年8月 措置済) リアホイ-ルシンター-リコール対象 (2002年9月 措置済) リアホイ-ルハ-クチャンハ-ブブラケットリコール対象 (2004年8月 措置済) |
| 11/10日8時 | 茨城県新治郡千代田町常磐自動車道上り千代田・右岡IC手前 | FE53EB 02年2月登録 | 済 | 走行中エンジンが吹けなくなり左前輪付近に炎を確認、キャブ全焼、キャブ後方シャシ側には焼損なし。 ・前軸左右輪のブレーキに引きずった痕跡あり。ハブヘアリングに破損はなく、軸ずれによる引きずりではない。 ・フロントブレーキ系に盗難防止用のロックシステムが後付けしており、それを解除せずに走行し引きずった可能性が高い。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | フ-エルハイブクランプ脱落リコール対象 |
| 11/17日11時 | 川崎市川崎区首都高速湾岸線下り川崎浮島JCT付近 | FP511D 97年2月登録 | 済 | 走行中にキャブが外れ、運転席の下から大きな音がしてアクセルが利かなくなり路肩に停車。プロペラシャフト前側のジョイント部が破損し一部の部品が脱落した。プロペラシャフト本体は脱落せず。 ・トランスミッションケースの前側フランジ部が全周亀裂しミッション本体は後部が垂れ下がった状態。 ・トランスミッションケースの前側フランジ部全周と、クッチハウジング一部亀裂。脱落部品は前側のスパイター-とその関連部品の為、駆動系の関連部品の詳細調査、スパイター-部のヘアリングリター-ナ-ホルトが弛み抜け出し破損したと推定。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | シャシハーネスリコール対象 (2000年9月 措置済) クッチハウジングリコール対象 (2004年6月 暫定措置済) キャブ電源ハーネスリコール対象 |
| 12/4日8時 | 奈良県都祁村国道25号線上り針IC付近 | FU54JUY 01年3月登録 | 済 | 走行中燃料の臭いをキャブ内で感じた。右ミ-で車体から霧状の物が噴出しているのを確認したので停車した。エンジンを止めて下車し点検したところ、キャブ右後側とリアホティの間から炎を確認した。キャブ全焼、リアホティ前側焼損。 ・エンジン後部の一部に焼損はあるがほとんど燃えていない。エンジンルーム内に燃料漏れの形跡は確認できなかった。 ・キャブ右後側とリアホティの間では配線のショート痕等の火災の要因となるものは発見できず。また、この付近で吸殻が数本確認されたが火災との関連は特定できず。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | 6M70タービシャフトリコール対象 (2001年3月 措置済) 6M70VGターボリコール対象 (2003年3月 措置済) キャブ電源ハーネスリコール対象 フロントハブヘアリングリコール対象 エンジンハーネスリコール対象 エンジンリヤマウントリコール対象 |
| 12/3日3時 | 東京都目黒区首都高速環状外回り代官町出口付近 | FU510UZ 97年12月登録 | 済 | 走行中リアプロペラシャフト脱落した。後続車一台が落下部品に乗り上げ、エンジンアンダカバー、サスペンションの一部を損傷。 ・リアプロペラシャフトの後側ジョイント部が破損し前側のスリ-フ-ョク部から抜け出して落下している。他の駆動系部品には脱落亀裂、ガタ等の異常は見られない。 ・後前軸のサスペンションロッド1本のシャシ側の取り付けナットが外れていたのを牽引時の作業者が確認している。ロッドが外れて後前軸の拘束が弱くなり、走行中の車軸の動きが大きくなり破損部のジョイントの角度が過大になり破損に至ったものと推定する。11/20の車検時に部品交換のため当該ロッドの脱着作業を実施している。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | シャシハーネスリコール対象 (2000年8月 措置済) キャブ電源ハーネスリコール対象 リヤリ-フスプリングのハンガーブラケットからの脱落リコール対象 |

| 発生日時 | 場所 | 車両 | スクランプル | 事故内容及び調査概要 | 人身 | 47項目のリコール等 不具合内容との関連性 | 過去の該当リコール案件 |
|-----------|------------------------------------|--------------------|--------|--|----------------------------|------------------------------------|---|
| 12/8日14時 | 鳥取県智頭町 国道53号線 黒尾峠付近 | FV419PZ 95年6月登録 | 済 | 走行中焦げ臭く感じしたので室内後方を見ると煙が出ていた。停車して確認したところキャブ左後方から炎が出ていた。 ・エンジンルーム左側の上部(左バンク排気マニホールドより上)およびエアクリ、吸気シュール等が焼損しており走行風の影響を考えるとエンジンルーム内に燃料漏れの形跡、焼損部付近の配線にショート痕なし。 ・排気マニホールドの表面にオイルが滴下し燃えたような痕跡を確認。この上にはエンジンローバース排出用のホースがあり、亀裂等により漏れたオイルが高温の排気系に滴下し引火した可能性が高い。エンジン・ロッカー・内部には、エンジンオイルがターゲルになったものが大量に付着していた。ホースは焼失しており火災前の状況の確認は不可能。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | フロントハブリコール対象 クランチハウジングリコール対象 (2004年11月 暫定措置済) 燃料噴射ポンプラックリコール対象 |
| 12/20日18時 | 兵庫県宍粟郡山崎町 中国自動車道上り 揖保川PA出口付近 | FP50MD 00年8月登録 | 済 | バ・キングエリアで約10分の休憩後出発し、本線への加速車線に入った時、異臭がして運転席左側のセンターコンソール付近からの白煙を確認。約100m走行し停車しエンジンを停止。キャブ全焼、リヤホテ前側焼損。 ・配線の焼損状態と運転手の証言から出火元はセンターコンソール内のルーネックス付近と推定されるが焼損が激しく出火原因の特定は困難。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | 箱型マフラーリコール対象 (2000年11月措置済) キャブ電源ハーネスリコール対象 フロントハブヘアリングリコール対象 T/Mニードルヘアリングリコール対象 |
| 1/5日13時 | 三重県四日市市午起 国道23号線下り | FU415JD 96年3月登録 | 済 | 走行中、後前軸左側のホイールボルト8本すべて折損しタイヤが脱落、外側タイヤが同じ車線の右折レーンに停車していた乗用車の左後部に当たった。内側タイヤは脱落したがホイールをブレーキドラムが押さえつけて転がらず。 ・折損したホイールボルト8本のうち2本の破断面には疲労破損の形跡あり錆びも発生している。ホイール側の全てのナット締め付け面に錆びが発生しており弛みによりボルト折損に至ったと推定。 | 現時点(1/11)で人身事故との警察判断の情報は無し | 当社調査結果から関連性は認められません。 | フロントハブリコール対象 クランチハウジングリコール対象 (2004年7月 暫定措置済) 後々軸ハブヘアリングリコール対象 |
| 1/1日4時 | 埼玉県岩槻市南平野 国道16号ハイパス | FK71HG 99年9月登録 | 済 | 走行中片側2車線の左側レーンに停車していた車両の右後部に、当該車両がキャブ左前部から追突した。アイドリング状態にして下車し、相手車両の運転手と数分間話をして戻ったところ、助手席側のインストルメントパネル付近から発煙、出火し全焼した。 ・ショート痕の場所等の状況から、出火の原因は衝突により配線の被覆が破れたことによるショートと推定。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | スターターリコール対象 (2004年8月 措置済) |
| 1/2日18時 | 福井市西開発 | FK61FJ 01年11月登録 | 済 | 交差点で一旦停止側の側道から出て来た乗用車と衝突し、対向車線を右へそれて、田んぼへ転落した。事故の際キャブが折れた。 ・乗用車が当該車両のキャブ右側前方下部のキャブステップ付近にほぼ直角に突っ込んでおり、キャブが大きくずれている。このためにフックが外れ折れたもので、衝突事故による二次的なものと判断する。 | 当該車両の運転手が肋骨にヒビが入り通院中 | 当社調査結果から関連性は認められません。 | スターターリコール対象 (2000年9月 措置済) |
| 1/7日23時 | 神奈川県伊勢原市 国道246号線 新善波トンネル手前 | FV50LH 00年6月登録 | 済 | 走行中プロペラシャフトが脱落し、後続車が乗り上げバンパーが損傷。 ・プロペラシャフトの後部ニールジョイントの残存しているヘアリングに焼き付きの痕跡がある。 ・破損状況からヘアリングの潤滑不良により焼き付きが発生しジョイント部が捻じ切れ、前方のスライダ部からプロペラシャフトが抜け出し脱落したものと推定。 ・破損部のヘアリングにグリスを注入するニップル(口金)が詰まっいて正常に機能しておらず整備作業時給脂出来なかったものと思われる。 ・警察継続調査中。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | カムシャフトリコール (2001年6月措置済) キャブ電源ハーネス再リコール対象 箱型マフラーリコール対象 フロントハブヘアリングリコール対象 リヤプロペラシャフトリコール対象 リヤハブリコール対象 フロントハブリコール対象 |
| 1/18日14時 | 静岡県袋井市 東名高速下り 袋井IC～磐田IC | FS415U改 94年3月登録 | 済 | 走行中フロントとリヤテア間のプロペラシャフトが脱落、後続車への加害なし。 ・タンデム間プロペラシャフトが脱落。ただし、フランジヨークはフロントテア側に残存。 ・リヤテア側のリタクションピニオンギヤットのナットが弛みコンパニオンフランジ内部に脱落、切断された割りピンの破片も確認。リコールの破損状況と同じ。 | なし | 47案件 (No.2) に該当リコール 1257 (10月7日届出) | フロントハブリコール対象 クランチハウジングリコール対象 (2004年7月 暫定措置済) タンデムプロペラシャフトリコール対象 アクスルチューブリコール対象 リヤハブリコール対象 |
| 1/20日15時 | 山口県美祢市伊佐町 中国道上り 美祢西IC～美祢IC | FU510UZ 97年2月登録 | 済 | 走行中エンジン制御警告ランプが点灯、キャブ外側左からの発煙を確認したので停車した。下車してキャブ左側を見たところ炎を確認した。キャブ全焼、リヤホテ前側焼損。 ・エンジンラックケース左側より第4気筒のコネクティングロッドが飛び出している。噴出したエンジンオイルが高温の排気系に付着、発火し周囲の可燃物に延焼したと推定。 ・エンジン分解調査結果、第4気筒以外のコネクティングロッドヘアリングに異常はなくオイルメンテナンス不良による不具合の可能性は低い。04/09のコネクティングロッドヘアリング交換時の作業に起因する可能性が高い。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | シャシハーネスリコール対象 (2000年8月 措置済) キャブ電源ハーネス再リコール対象 (2005年1月 措置済) 後々軸ハブヘアリング外れリコール対象 リヤハブリコール対象 |
| 1/31日17時 | 大阪府池田市 駐車場 | FK61FK 01年3月登録 | 済 | 荷積み後帰社しエンジン停止。車両を離れ数分後戻るとキャブ内より出火していた。キャブ全焼、リヤホテ前側焼損。 ・最初に炎が確認されたのは助手席前、下側のパネルの内部。 ・助手席前のルーネックス付近のルーネスに、生産時には見られない捩り配線とショート痕が多数あり。また、シャシキャブへの配線のうちの1本がECU本体下面にショートし溶着、焼損が激しく火元の特定は困難。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | フロントハブヘアリングリコール対象 (2003年8月措置済) |
| 2/9日1時 | 静岡県御殿場市神山 東名高速上り 駒門PA手前 | FV50NH 02年11月登録 | 済 | 登坂車線を走行中プロペラシャフトが脱落し停車。落下物による二次被害はなし。 県警より故障停車原因究明の実車見分立会い要請あり。 ・トランスミッション側プロペラシャフトジョイント部スライダ-2カ所が焼付き損傷しプロペラシャフトスリーブヨークが脱落。 ・残存スライダ-2カ所のヘアリング部もグリス残量少および性状不良(ドロロ)で焼付き寸前(焼付き始め)を確認。 ・グリス給脂は可能(問題なし)を確認。 ・その他県警捜査中。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | フロントハブヘアリングリコール対象 リヤプロペラシャフトリコール対象 リヤハブリコール対象 フロントハブリコール対象 |
| 2/8日14時 | 福島県福島市大笹生 国道13号線 | FE516BT 95年3月登録 | 済 | 走行中焦げ臭いがしたので停車したところ、キャブと荷箱の間に炎を確認した。キャブ全焼、荷箱は前半分が焼損。 ・排気管付近に炭化した積荷の裁断紙と思われる残留物あり、またトランスミッション横の左側フレーム内シャシハーネスにショート痕があるが焼損が激しく火元の特定は困難。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | スターターキースイッチリコール対象 (2002年9月 措置済) タイロッドエンドボールジョイントリコール対象 |

| 発生日時 | 場所 | 車両 | スクランブル | 事故内容及び調査概要 | 人身 | 47項目のリコール等不具合内容との関連性 | 過去の該当リコール案件 |
|----------|-----------------------------------|---------------------|--------|--|-----------------|----------------------|---|
| 2/15日11時 | 群馬県新田郡笠懸町 県道69号線 | FE63EEY 02年3月登録 | 済 | 交差点手前で前方を走行中の軽乗用車が減速したのでブレーキをかけたが効かず停車した車両に追突。 追突された軽乗用車が前の普通乗用車に追突した。天候は雪、路面はシャーベット状態。 ・制動力を計測、検査基準に合格。ブレーキペダル踏みに違和感ない。また、ブレーキ分解したが特に異常はない。 ・ABSシステム異常の履歴をテスターで確認したが問題なし。 ・車両には特に異常なところは確認できなかった。 | 軽乗用車の 運転手軽傷 | 当社調査結果から関連性は認められません。 | ブレーキ・ハイドロブースターリコール対象 (2004年12月 措置済) フェールバッククラブ脱落リコール対象 (2004年12月 措置済) |
| 2/16日13時 | 高知県高岡郡中土佐町 国道56号線 | FK619K 96年3月登録 | 済 | 坂道を降坂中、前方の道路工事現場で停車中の車両を発見したのでブレーキをかけたが効かず追突した。 当該車両を含めて4台の玉突き事故。直前までの降坂中はブレーキの効きに異常はなかった。 ・制動力を計測、検査基準に合格。ブレーキ分解したが焼け等の異常なし。ウォーニングシステムも異常なし。 ・その他県警捜査中。 | 現時点では 物損事故扱い | 当社調査結果から関連性は認められません。 | キャブフック曲がり不具合リコール対象 キャブ警灯警告灯不具合改善対策対象 |
| 2/12日16時 | 長野県小諸市平原 国道18号線 | FU410U 94年3月登録 | 済 | 前方走行中の小型ダンプが右折のため減速したので、ブレーキペダルを踏んだが底付きしたような感じになり効かなかった。ハンドルを切って避けたが、右折車両に追突。当該車両にはその後横転。 ・制動力を計測、検査基準に合格。ウォーニングシステムも異常なし。ステアリング系の作動も異常なし。 ・その他県警捜査中。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | フロントハブリコール対象 (2004年4月 措置済) 後々軸ハブベアリングリコール対象 リアハブリコール対象 |
| 3/3日6時 | 大阪府枚方市香里ヶ丘 府道18号線 | FK61FL 03年1月登録 | 済 | 走行中ハンドルとメーターパネルの間から発煙。その後炎を確認したので避難した。キャブ内全焼。 ・メーターパネル裏側の電源線にショート痕あり。2本の線同士が溶着、別の1本がステアリングコラムステアに溶着している。 ただし、ショートした配線のヒューズは切れておらず、バッテリーまでの配線の被覆も途中から残っている。原因の特定はできず。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | フロントハブベアリングリコール対象 |
| 2/25日15時 | 愛知県豊田市竜神町 | FK71GJ 02年10月登録 | 済 | 急な坂道(約18%勾配)を降坂中にブレーキペダルが底付きしたような感じになり減速できなかった。坂道の突き当たりがT字路になっており、曲がきれずにガードレールを乗り越えて私鉄の線路内に転落した。 ・ブレーキ系のエア配管がつぶれて漏れが発生している。ただし、ガードレール等への衝突により二次的に破損したものと 思われる。配管を修復し制動力を計測したところ、検査基準に合格。ウォーニングシステムも正常に作動する。 ・その他県警捜査中。 | 運転手軽傷 | 当社調査結果から関連性は認められません。 | フロントハブベアリングリコール対象 |
| 3/9日0時 | 静岡県静岡市 国道1号線ハイパス | FU54JUZ 04年2月登録 | 済 | 走行中、サイドミラーで後前軸が右側に出っ張ったように見え白煙も確認した。約2km走行し停車し確認したところ後前軸の左側タイヤの奥から出火していた。リアホテテ部がほぼ全焼。 ・後前軸スラストジョイントのボールジョイント取付けナットが脱落したため、車軸の左右方向の拘束が弱くなり、左内側のタイヤホイールとショックアブソーバーが接触したと思われる。その時、破損したショックアブソーバーから噴出したオイルが金属接触による火花または熱により発火、延焼したものと推定。 ・ナット弛みの原因は締結強度不足によるもの、リコール届出済み。 | なし | リコール1415(4月15日届出) | フロントハブリコール対象 (2004年11月 措置済) エアサスロッドリコール対象 (2004年11月 暫定措置済) エンジンマウントリコール対象 (2004年11月 暫定措置済) リアハブリコール対象 |
| 3/14日22時 | 兵庫県加東郡社町 県道17号線 | FU55JUZ 04年11月登録 | 済 | 走行中後続車より指摘があり車両を停車し確認したところ、後前軸の左タイヤの奥に炎を確認した。 左内側タイヤ付近とリアホテテの床部分が焼損している。積荷への延焼なし。 ・後前軸スラストジョイントのボールジョイント取付けナットが脱落したため、車軸の左右方向の拘束が弱くなり、左内側のタイヤおよびブレーキドラム・バックプレートがショックアブソーバーが接触したと思われる。その時の摩擦熱によりタイヤより発火、延焼したものと推定。ショックアブソーバーは表面に変形はあるが内部の作動油は漏れ出してはいない。 ・ナット弛みの原因は締結強度不足によるもの、リコール届出済み。 | なし | リコール1415(4月15日届出) | リアハブリコール対象 |
| 3/23日18時 | 栃木県下都賀郡大平町 | FA580B 99年6月登録 | 済 | 自宅敷地内でエンジンをアイドリング状態で荷おろし中エンジンが停止した。再始動できずキャブ下から出火。エンジンルーム全焼。 ・エンジン左前側上部の焼損が激しく出火場所の可能性が高いがその付近の配線にはショート痕はない。エンジン本体からのオイル漏れ、前周りの補記類プーリーのDック、スターターのオーバーラン等の異常も見られない。燃料ホースは焼失しており燃料漏れの有無の確認は不可能。出火原因の特定は困難。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | スターターキースイッチリコール対象 (2002年5月 措置済) フロント独懸ボールジョイントリコール対象 |
| 3/29日19時 | 広島県福山市神村町 山陽自動車道入り 神村トンネル手前 | FN428T 94年1月登録 | 済 | 走行中振動があり衝撃音とともにショックを感じ、車線上にリアハブベアリングが落下したのを確認した。 後続の乗用車一台が落下物に乗り上げてタイヤ&ホイールが損傷。既走行距離17,111.163km。 ・リアハブベアリング(3本中の最後尾)のテフ側エレキサルジョイントのスパイダー(未回収)が破損しリアハブベアリングが脱落。前側のジョイントは損傷あるが破断しておらず、スリーブヨークはぶら下がり状態で脱落していない。 ・テフ側フランジヨークまたはジョイントヨーク部のリテーナールボルトが折損しスパイダーが脱落した可能性があるが、当該部の破面の損傷が激しく折損原因の特定は困難。ただし、脱落寸前の状態で回収したスリーブヨーク側のボルトには疲労破面が、スパイダーにはカゲが認められる。未回収のテフ側スパイダーもほぼ同等のメンテナンス状態であったと推定。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | フロントハブリコール対象 (2004年3月 措置済) クワッチハウジングリコール対象 (2005年1月 措置済) リアハブリコール対象 アックスチューブリコール対象 (2005年1月 措置済) |
| 3/24日13時 | 長野県東筑摩郡本城村 長野自動車道下り 立峠トンネル内 | BE459F 97年1月登録 | 済 | 高速度に入ってリアガラス一面が路面の水を巻き上げ様な状況になりハイパーを作動させた以外特に変調なし。その後約20km走行後右前輪後方に火花が見えたので非常停車帯に止め車外へ避難した。 ・エンジン冷却水漏れ、燃料漏れ、エンジンオイル漏れと思われる形跡は確認できたが、エンジンルーム内の焼損が激しく原因の特定は困難。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | リアブレーキハイパー干渉リコール対象 (1997年5月 措置済) スターターキースイッチリコール対象 (2002年4月 措置済) 駐車ブレーキケーブルリコール対象 フロント独懸ボールジョイントリコール対象 |
| 4/13日21時 | 新潟県妙高市毛祝坂 国道18号線 | FP411D 96年3月登録 | 済 | 登坂走行中ハチバ音と焦げ臭さを感じ停車したところ、キャブ右後方に煙と炎を確認。通りがかりのトラックの運転手が消火器で消火した。その後消防車の放水で完全鎮火。エンジンルーム内右後部ぼや。 ・キャブ右後方に後付けでエンジンオイルフィルターが増設しており、そこからエンジン本体への配管(アイロチューブ)2本の一部が焼失、直下の排気管の焼損が比較的激しい。後付けのオイル配管アイロチューブの劣化または騒音防止カバーとの干渉により亀裂が発生し、エンジンオイルが漏れて高温の排気管に滴下、発煙、発火したものと推定。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | フロントハブリコール対象 (2004年3月 措置済) クワッチハウジングリコール対象 (2005年3月 措置済) |

| 発生日時 | 場所 | 車両 | スクランブル | 事故内容及び調査概要 | 人身 | 47項目のリコール等不具合内容との関連性 | 過去の該当リコール案件 |
|----------|----------------------------------|--------------------------------------|--------|--|--------------------|----------------------|--|
| 4/18日12時 | 静岡県 東名高速下り 三方原PA付近 | FK619H 96年5月登録 | 済 | 走行中発煙に気付いたが約5km走行後、キャブ後方の窓越しにリアボディからの出火を確認したので停車。キャブ、エンジンルーム内全焼。リアボディ前部が焼損。 ・車両の損傷状況から火元はエンジン右後方排気管付近と推定されるが、排気ガス漏れ、オイル漏れ、オイル付着、配線のショート痕等出火の形跡は確認できず。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | キャブフック曲がり不具合リコール対象 (2004年12月 措置済) キャブナル警告灯不具合改善対策対象 (2004年12月 措置済) |
| 4/19日19時 | 岐阜県中津川市山口 国道19号線 | FP415D 96年4月登録 | 済 | 走行中センターコンソールのラジオの裏付近から発煙を確認したので道の駅の駐車場に停車した。助手席前のインストルメントパネルを外したところ奥に炎が見えた。キャブ全焼。ブレーキの前側半分が延焼。 ・キャブ内インストルメントパネル内側のパネルからの出火の可能性が高いが、出火元付近には後付け配線も含めて多数のショート痕があり原因の特定は困難。 | 運転手軽傷 (手のひらに火傷) | 当社調査結果から関連性は認められません。 | 燃料噴射ポンプラックリコール対象 クランチハウジングリコール対象 (2005年3月 措置済) |
| 5/6日18時 | 埼玉県上福岡市 車庫内 | FE73EB 03年9月登録 | 済 | 火災発生約1時間30分前に車庫内に駐車し、その約1時間後従業員が退社した。その後18時頃車庫が燃えているのを近所の人が発見。消防へ通報。車庫内に駐車していた他の6台にも延焼。 ・車両の状況からキャブ内からの出火と推定。キャブ内の右側の焼損が特に激しいが配線のショート痕等出火原因となるようなものは確認できず。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | マスターシリンダ・ピストンカップ折損リコール対象 |
| 5/10日12時 | 東京都大田区 首都高速湾岸線西行き 多摩川トンネル内 | BG438F (97年5月初度登録) (04年5月登録抹消) | 済 | 未登録の中古車として回送中、水温計の針が異常に上がっていたのでパークに停車し水を補給。走行を再開したところ車内に煙が侵入して来たので路肩に停車した。非常電話を使用し戻ると左前側のタイヤの奥から火が出ていた。 ・スターター内部の破損はなくオーバーランの可能性はないが、バッテリーからの+配線のターミナルが半分溶損。スターターマウントスリットの端子も溶損。締結が緩みエンジン始動時にスパーカが発生し端子ゴムキャップ等に延焼した可能性が高い。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | スターターキースイッチリコール対象 (2002年5月 措置済) 駐車ブレーキケーブルリコール対象 タイロッドエンドボールジョイントリコール対象 |
| 4/30日22時 | 長野県諏訪市豊田 県道50号線 | FE88DEV 05年3月登録 | 済 | 峠から降坂して来て降りきった所の交差点の手前で信号が赤になったのを確認したのでブレーキペダルを踏んだが柔らかく効かなかった。停止車両への追突を避けるために道路左側の車庫とブロック壁に当たった。キャブ左前側破損。 ・ブレーキ系に損傷はなく、計測した制動力値は検査基準に合格。ウォーニングシステムも正常に作動する。 ・ブレーキ系の分解調査結果、事故当時の状況からブレーキを過熱させフェード現象、ヘールロック現象が発生し制動力が低下した可能性が高い。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | なし |
| 5/12日12時 | 静岡県引佐郡三ヶ日町 東名高速上り | FS510VY 96年9月登録 | 済 | 走行中運転席下側付近が熱く感じ、足元から発煙したので停車。助手席側から避難しようとしてドアを開けたところ運席周辺から炎が上がった。キャブ、リアボディ全焼。 ・運転手の発煙、出火時の証言と車両の焼損状況から運転席付近からの出火と考えられるが、この付近に車両側の発火源(電気配線、可燃物等)はなし。また、他人等の人為的失火の痕跡も見つからず出火原因の特定できず。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | シャシハーネスリコール対象 (2000年8月 措置済) タンデムローバシフトリコール対象 (2003年5月 措置済) リアローバシフトリコール対象 (2003年9月 措置済) キャブ電源ハーネス再リコール対象 (2005年3月 措置済) タンデムローバシフト再リコール対象 アクスルチューブリコール対象 フロントハブリコール対象 |
| 5/13日10時 | 北海道檜山郡厚沢部町 道道67号線 | FV415P 86年4月登録 | 済 | 走行中白煙を確認したので停車したところキャブ後方から炎が上がった。エンジンルーム左後部ぼや。 ・タンクコントロールケープル(キャブ内～タンクシリンダー)とバッテリー～キャブ間のシャシハーネスが長期間干渉し被覆が摩滅し短絡し出したものと推定。タンクケープルの配線が正規とは異なっておりこれが干渉の原因と思われる。本ケープルは消耗品でありいつの時点で事故車両の状態になったかは不明。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | フロントハブリコール対象 (2005年1月 措置済) クランチハウジングリコール対象 (2005年3月 措置済) リアハブリコール対象 |
| 5/24日10時 | 新潟県新潟市女池明神 県道16号線 | MS822P 97年5月登録 | 済 | 国道バイパスから県道へ合流するカーブを走行中車両後方右側の非常口扉が開いた。 ・調査時点では非常口扉のロック機構、警報サザーの作動に異常は認められず。 ・事故前後の状況から推定すると、事故前日に扉が開閉されておりその時に半ドア状態となり、かつ警報サザーが接触不良等により鳴らずそのまま運行した結果、左折時の遠心力により扉が開いたものと推定。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | フロントハブリコール対象 (2004年8月 措置済) オイルハブクワッツリコール対象 (2005年1月 措置済) オイルハブクワッツリコール対象 (2005年1月 措置済) |
| 5/25日23時 | 静岡県静岡市 東名高速下り | FU510UZ 98年3月登録 | 済 | 走行中突然車速が落ちてきたので路肩に停車した。後軸左側のアクスルシャフトが約10cm抜け出していた。 ・アクスルシャフト取り付けボルト8本中1本を回収。ボルトのねじ山の一部分にシャフト外れ時に出来たと思われる潰れがある以損傷、伸び等の問題なし。アクスル側のねじ山の損傷はないがボルト穴内に少量のグリスの残存を確認。 ・当該部の直近の作業は2月の車検時であり、その時のトルクチェックの有無は不明。車検作業時のボルト締付けが不十分であったため徐々に弛みが発生し、ボルト脱落、シャフト抜け出しに至ったものと推定。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | シャシハーネスリコール対象 (2000年8月 措置済) キャブ電源ハーネス再リコール対象 (2005年2月 措置済) 後々軸リフスプリング外れリコール対象 (2005年2月 措置済) リアハブリコール対象 |
| 5/28日13時 | 長野県諏訪市 中央道上り | BE459F 95年6月登録 | 済 | 走行中バックミラーで白煙を確認したので車両を路肩に停車させたところエンジンルームから煙が出てきたので車内のエンジンルーム点検扉を開けた。エンジン左後方から炎が上がっていたので車載の消火器で消火した。エンジン左後方ぼや。 ・客室内用ヒーターの配管腐食、ホースの劣化により水漏れが生じ、エンジン冷却水がほとんどなくなりエンジンが焼き付き寸前の状態。エンジンリザーブホースを中心に燃えており、ホースには亀裂補修したと思われるカムテープの燃え残りあり。 ・エンジン左側のスターター配線関係に異常なし。スターターは正常に作動することを確認。焼損部付近の配線にショート痕なし。 ・エンジン冷却水が減少しオーバーヒート気味になりエンジン本体の温度が上昇し、フローヒューズの補修用に使用していたカムテープが触れて発火、ホースおよびホース内のオイル等に延焼した可能性が考えられる。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | スターターキースイッチリコール対象 (2002年5月 措置済) 駐車ブレーキケーブルエンドリコール対象 タイロッドエンドボールジョイントリコール対象 駐車ブレーキケーブル固定不良リコール対象 |

| 発生日時 | 場所 | 車両 | スクランプル | 事故内容及び調査概要 | 人身 | 47項目のリコール等 不具合内容との関連性 | 過去の該当リコール案件 |
|----------|------------------------------|--------------------|------------|---|----------------------------|--------------------------|--|
| 5/30日19時 | 徳島県三好郡三好町 徳島自動車道入り | FE658E 96年5月登録 | 済 | 走行中バックミラーで車両後方から炎が出ているのを確認したので路肩に停車した。荷箱の後軸上方の荷箱の床板の焼損が激しい。キャブへの延焼なし。 ・荷箱の下側(後軸側)から出火しまわりに延焼している。 ・焼損の激しい後軸付近の電気配線にショート痕等の異常はない。後軸ハブアリング破損等によるブレーキの引きずりなし。 ・荷箱とフレーム間に物入れを改造作成した時に使った床板の一部が焼け残っており、テールハブの後軸部の曲り部頂上に擦れ跡があることから、床板が長期間接触または接近していたことにより炭化し燃え易くなっていたと推定。今回の高速走行となり加熱されて発火したものと推定する。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | スターターキースイッチリコール対象 (2003年6月 措置済) ステアリングキャホックスリコール対象 駐車ブレーキケーブルリコール対象 (2004年12月 措置済) タイロッドエンドボールジョイントリコール対象 (2004年12月 措置済) |
| 4/24日10時 | 横浜市神奈川区 国道15号線入り | FE82EG 02年12月登録 | 済 | 走行中前方の赤信号で停車中の大型トラックに追突した。その後、販売店に追突前にエンジン回転が上昇しエンジンブレーキが効かなかったとの申し出があり、発生状況が不明確であり警察を交え再見分となった。 ・運転手の追突前の状況説明では、車速は60km/h、車間距離は15m、前方の信号が赤になったのでブレーキペダルを踏んだが最初の2回は板を踏むような感じで硬く、3回目を踏みなおした直後にエンジンが吹けあがり追突したと証言。 ・ブレーキ液系配管に漏れなし。ハキーム系配管のキャブ前面ハネ部のゴムホースに微小な亀裂あり。衝突により破損したキャブハネ鉄板と擦れて発生したものと推定。修復後漏れなく、台上ブレーキスターで制動力を計測。ブレーキペダルの踏代に比例し制動力が増加することを確認した。ブレーキ機能は正常と判断。ハキームなしでも制動力は確保。 ・リコール項目のマスターシリンダーを分解しヒストンカフの状況を確認したが、折損なく異常なし。 | 追突された大型トラックと当該車両の運転手がともに軽傷 | 当社調査結果から関連性は認められません。 | 独立懸架車両フロントハブアリングリコール対象 (2003年6月 措置済) フロントハブアリングリコール対象 (2005年1月 措置済) マスターシリンダーヒストンカフ折損リコール対象 |
| 6/20日早朝 | 静岡県袋井市 東名高速下り | FV412TZ 95年9月登録 | 済 | 走行中車体振動が発生したために路肩に停車し車両確認後走行再開したが、加速時に異音が発生。後前軸と後々間のフロアシャフトが脱落した。落下物による二次被害はなし。 ・脱落した部品と残存部品で確認したところ、フロアシャフトが前後逆に組付けられていたことが判明。昨年11月にユーが自家整備工場で後々軸のデフォイル漏れ修理時に逆組みした可能性が高い。ただし、これが本事故の直接的な原因になったとは考えにくい。 ・残存するフロッグ部のリテーナーホールの破断面が疲労の形態を呈しており、回収したスライダーや未破損のジョイント部のが大きいこと、脱落したスライダー内部の残存グリス量は少ないが給脂機能は問題ないことを確認した。 ・給脂不足(または整備ミス)により当該スライダーにカガが発生し、点検整備不十分な状態で継続使用したためにリテーナーホールが弛み回転アシランスが増大し疲労破壊に至ったと考える。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | クランチハウジングリコール対象 (2005年6月 措置済) フロントハブリコール対象 (2004年9月 措置済) リアハブリコール対象 (2005年6月 措置済) |
| 6/18日9時 | さいたま市岩槻区東町 国道16号線 | FE667EV 97年8月登録 | 済 | 走行中ブレーキが効かなくなり停車中の乗用車に追突した。運転手は追突前からブレーキの効き不良を感じており駐車ブレーキを併用していたと証言。また、ブザーの吹聴はなく、警告ランプの点灯は判らないと証言している。 ・前輪右側の上下のディスクブレーキキャリパーのアクターハットが脱落し、キャリパーとディスクローターがメタルタッチローターが摩耗。脱落していないインナーハットは上側が使用限度越え。ピストンの作動限度を越えたためピストンツからブレーキ液漏れあり。ディスクパットの摩耗インジケータの配線が意図的に直結に改造されており摩耗しても警告ランプが点灯しない状態。 ・運転手は走行中に金属音を確かしているがそのまま走行継続。 ・前輪左側のディスクパッド、ローター、摩耗インジケータ配線に異常なし。また、ブレーキ液漏れもなく問題なし。 ・左右のハット刻印が異なり、今年1月の前ブレーキ修理時のハット交換が左側のみであった可能性が高い。 ・ブレーキ液リザーバークラック内の液面低下時の警告ランプ作動、ディスクパットの摩耗警告ランプの作動(不正改造修正後)は正であることを確認した。また、ハキーム失陥警報(ブザー吹聴、ランプ点灯)も正常に作動。 ・不適切な警報装置の改造、ブレーキが異常な状態での継続使用での事故と考える。警察が捜査継続。 | 追突された乗用車の運転手が軽傷 | 当社調査結果から関連性は認められません。 | スターターキースイッチリコール対象 (2002年9月 措置済) 駐車ブレーキケーブルリコール対象 タイロッドエンドボールジョイントリコール対象 |
| 6/29日11時 | 長野県佐久市 上信越道下り 八風山トンネル内 | MS822P 98年3月登録 | 済 | 走行中、後続の同僚のバスからの合図および追い越し車線の小型トラックから指摘されて路肩に停車した。確認したところ後軸左側の内側タイヤ付近から炎が出ているので、乗客を避難させ消火器で消火した。一旦火が消えたが再び燃え上がり左タイヤの方へ延焼し室内にも燃え広がった。消防車が出勤し鎮火した。 ・右後輪内側タイヤおよびその付近の焼損が激しいこと、運転手が消火器のノズルを向けた場所と一致することから、火元は右後内側タイヤ付近と推定する。 ・後軸左右のブレーキには引きずりによる焼けた痕跡はない。また、ハブアリングに破損もなく、これらからの出火の可能性はない。ABS車速センサーの配線にショート痕なし。シャシホースは左タイヤ側にありショート痕はない。 ・右ブレーキドラムのダストカバーとドラムが擦れた跡があった。高温になったような変色は見られないが、ユーザ-要求により詳細調査を当社が実施する。また、後軸のタイヤとホイールについてはタイヤメーカーが調査する。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | リヤスタビ、エアハイリコール (2000年8月 措置済) 燃料噴射ポンプ・リターンスプリング ブレーケットリコール対象 (2003年8月 措置済) ホイールハーウエッジリコール対象 エアチャージパイプ亀裂リコール対象 |
| 7/8日19時 | 山口県下関市 山陽自動車道入り 小月IC付近 | FK727C 98年9月登録 | 済 | 走行中ブレーキの異常(引きずり感)に気付き停車し車両を点検していたところ、前軸右側のハブキャップがはずれ、直後に左側のタイヤ付近から出火し車両全体に延焼した。 ・エンジンからの出火の形跡はない。前後軸のハブアリングには焼き付き、破損等の異常なし。 ・後軸のブレーキドラムはスム-スに回転するが、前軸は左右共に人力では回転しない。前軸左右のブレーキライニング、ドラムの摺動面に引きずりの形跡あり。 ・前軸左右のブレーキ引きずりの原因は、ブレーキバルブ、エアマスター等の異常が考えられるが焼損が激しく特定は困難。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | なし |
| 7/20日20時 | 福岡県久留米市 駐車場 | FT517VX 96年8月登録 | 済 7/25日 | ラーメン店の駐車場で、エンジンアトリング、エアコンON、冷凍機のエンジンONの状態でも無人で駐車していたところ、約20分後にキャブ内センターコンソ-ル付近から炎が出ているのを発見。キャブ内全焼。リハネティの前面焼損。 ・運転手が炎を確認した場所はT/Mツアノ後方のセンターコンソ-ルスイッチ付近で、そこに座布団をかぶせ消火を試みていた。 ・その付近のメイン配線にはショート痕はない。なお、一部の配線に溶融痕(玉)があるが相手側が確認できず二次的な可能性が高い。その他火元となるような車両側の要因は見当たらず。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | シャシホ-ネリコール対象 (2000年9月 措置済) キャブ電源ハ-ネリコール対象 |
| 7/20日16時 | 奈良県天理市 国道25号線 | FK71HH 99年11月登録 | 済 7/26日 | 上り坂走行中に水温計の針がレッドゾーン手前まで上がったので停車し水温計が下がるのを待って配達に出発した。その後、上り坂で再度水温計の針が上がって来たので停車し車両左側へ回ったところ、キャブとエンジンとの間から炎が上がった。 ・事故前の状況からエンジンオーバーヒートによりエンジンルーム内が異常に高温になり火災発生したものと推定。エンジンルーム内の焼損が激しく火元、延焼経路の特定は困難。エンジンの詳細調査を実施する。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | スターターリ-リコール対象 (2000年8月 措置済) クランチスターブレーケットリコール対象 |

| 発生日時 | 場所 | 車両 | スクランブル | 事故内容及び調査概要 | 人身 | 47項目のリコール等 不具合内容との関連性 | 過去の該当リコール案件 |
|----------|---------------|--------------------|------------|---|------------------------|--------------------------|--|
| 7/12日16時 | 埼玉県川越市 一般道 | FB700B 03年12月登録 | 済 7/26日 | 走行中前方の軽自動車が停車したのでブレーキペダルを踏んだが追突した。事故直前まではブレーキに異常なし。 事故後、販売店で制動力をブレーキテスターで計測したが数値は車検の検査基準に合格。 再度制動力を計測したが車検の検査基準に合格。ブレーキ関連部品を回収し調査する。 | 追突された軽自動車の乗員3名のうち1名が軽傷 | 関連性調査中 | マスターシリンダー・ピストンカップ折損リコール対象 |
| 7/19日18時 | 兵庫県姫路市 車庫 | FB70ABX 05年6月登録 | 済 7/27日 | 帰社後車庫に車両を駐車約30分後に従業員が荷台の右後輪付近から火の手が上がっているのを発見した。車庫内の建設機材等に延焼。 車両の右後輪部の荷台部では、床板が穴明き焼失しており火元と推定できるが焼損状況が激しく特定は困難。 なお、付近の配線、排気管、ブレーキ、ハブアリング等からは火元、火種となったような痕跡は確認できず、火災現場での調査からは原因特定に至っていない。 後日、焼損車両を販社に持ち込み車両全体を再度詳細調査する。 | なし | 当社調査結果から関連性は認められません。 | 独立懸架車フロントハブアリングリコール対象 マスターシリンダー・ピストンカップ折損リコール対象 |

・2004年6月14日以降、昨年未までの車両事故・火災情報(スクランブル対応)は45件(うち27件は47項目との関連性無かった為項目から削除)

市場措置実施状況 (05年8月1日現在)

()内数値は、7月25日時点の数値を示す。

| 市場措置アイテム (届出日・届出番号) | 対象台数 实在登録台数 | 実施状況 | | | | 合計 | |
|--|----------------------|------------------|----------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| | | 暫定措置 | | 恒久措置 | | 実施台数 | 実施率(%) |
| | | 実施台数 | 実施率(%) | 実施台数 | 実施率(%) | | |
| 大型トラック クラッチハウジング リコール (04年5月26日・1092) | 68,679 (05年1月末現在) | 5,576 (5,721) | 8.1% (8.3%) | 61,022 (60,870) | 88.9% (88.6%) | 66,598 (66,591) | 97.0% (97.0%) |
| 大型トラック 後前軸と後後軸間プロペラシャフト リコール (04年10月7日・1257) | 14,166 (05年1月末現在) | 1,312 (1,407) | 9.3% (9.9%) | 10,292 (10,067) | 72.7% (71.1%) | 11,604 (11,474) | 81.9% (81.0%) |
| 大型バス流体式リタ - ガ装着車プロペラシャフトエンドヨ - ク リコール (04年6月15日・1111) | 262 (05年1月末現在) | 0 (0) | 0.0% (0.0%) | 262 (262) | 100.0% (100.0%) | 262 (262) | 100.0% (100.0%) |
| 大型バス フロント独懸用アームシャフト亀裂 リコール (04年10月27日・1290) | 6,859 (05年1月末現在) | 45 (45) | 0.7% (0.7%) | 5,567 (5,536) | 81.2% (80.7%) | 5,612 (5,581) | 81.8% (81.4%) |
| 小型バス ローザ 非常ドアの開放 リコール (04年9月22日・1228) | 3,565 (05年1月末現在) | — | — | 3,563 (3,563) | 99.9% (99.9%) | 3,563 (3,563) | 99.9% (99.9%) |
| 小型トラック キャンター ブレーキライン リコール (04年7月21日・1168) | 8,835 (05年1月末現在) | 97 (103) | 1.1% (1.2%) | 8,550 (8,531) | 96.8% (96.6%) | 8,647 (8,634) | 97.9% (97.7%) |
| 大型トラック後2軸駆動車 前側駆動軸差動機(インタデフケース)リコール (04年10月13日・1265) | 2,682 (05年1月末現在) | 50 (52) | 1.9% (1.9%) | 2,385 (2,375) | 88.9% (88.6%) | 2,435 (2,427) | 90.8% (90.5%) |
| 中型バス 変向機(Tドライブ)ピニオンギヤシャフト リコール (04年10月13日・1261) | 3,220 (05年1月末現在) | 74 (79) | 2.3% (2.5%) | 1,892 (1,826) | 58.8% (56.7%) | 1,966 (1,905) | 61.1% (59.2%) |
| 小型バス ローザ荷物扉開放 リコール (04年9月22日・1228) | 1,048 (05年1月末現在) | — | — | 1,047 (1,047) | 99.9% (99.9%) | 1,047 (1,047) | 99.9% (99.9%) |
| 大・中型バス 非常口付近座席転倒防止 リコール (04年9月22日・1229) | 27,569 (05年1月末現在) | — | — | 26,511 (26,497) | 96.2% (96.1%) | 26,511 (26,497) | 96.2% (96.1%) |

47案件以外

| 市場措置アイテム (届出日・届出番号) | 対象台数 实在登録台数 | 実施状況 | | | | 合計 | |
|---|-----------------------|------------------|----------------|--------------------|------------------|--------------------|------------------|
| | | 暫定措置 | | 恒久措置 | | 実施台数 | 実施率(%) |
| | | 実施台数 | 実施率(%) | 実施台数 | 実施率(%) | | |
| 大型車フロントハブ不具合 (04年3月24日・1056), (04年4月22日・1076), (04年8月19日・1204) | 100,619 (05年1月末現在) | 1,712 (1,737) | 1.7% (1.7%) | 94,021 (93,949) | 93.4% (93.4%) | 95,733 (95,686) | 95.1% (95.1%) |